



初めまして、小学校5年生の時に、GLAYの「誘惑」を聞いてロックがかっこいい！と衝撃を受けた東部校校長の畑野直也と申します。初めて買ったGLAYのCDは「BE WITH YOU」です。当時はGLAY派かラルク派かという話もありました。どちらも好きですが、GLAYが一番です。

滋賀県出身で、大学は岐阜大学です。大学時代から岐阜に住んでおり、岐阜県民になって12年です。最初は、「B紙」「でら大きい」という言葉の意味がわかりませんでした。マクドナルドを「マクド」と省略すると、「そこはマック！」と友人に言われる始末。聖陵学院に入社して3カ月間は、「カドケド」を先のとがった道具かと思っていました。小学生が危険なものを当たり前のように使っていると信じていました。私の育った滋賀県は「漢ド計ド」だったため、驚きました。今は、私も「カドケド」を持ってきて！」と当たり前のように使っています。岐阜県に馴染んだと思います。ただ、高校野球で滋賀VS岐阜になるとどちらを応援すればよいか悩みます。できれば直接対決は避けてほしいと思います。

食べ物で衝撃を受けたのは「味噌カツ」です。大学の学食で初めて「味噌カツ」を食べたのですが、あまりにまずくて避けていました。大学3年生の時、お世話になった方に、「この味噌カツはおいしい」と連れて行かれたのが、岐阜市にある「とんかつたちばな」です。この味噌カツを食べて初めて「味噌カツ」がおいしいとわかりました。最近は味噌カツも食べられます。

私が聖陵学院の講師になって8年です。普通の学力をトップレベルへという学院長の矢嶋の想いに共感して入社しました。子ども達には、自分の目標に向かってひたむきにがんばって達成してほしいと思っております。だからこそ、授業も、「わかった！」「できた！」と言って帰ってもらうことを毎授業の目標にしています。今日はここだけ！と決めて、授業、テストと行っています。「テストでいい点数取れた！」とうれしそうな顔をしている姿を見ると私もうれしく思います。1人ひとり可能性が広がります。努力をすることによって可能性が広がります。先日私立に合格した生徒が「校長先生が泣いて喜んでくれた」と言っていました。実力テスト100点アップして、大きくレベルを上げたのです。最初の点数から何もしなければ今の志望校は無理でした。努力した結果です。

私は聖陵学院東部校で、自分の目標に向かってがんばる生徒を育てています。また、がんばる生徒を応援する校舎にもしています。聖陵学院東部校と一緒に頑張ってみませんか。ひたむきにがんばることの大事さを一緒に共有しましょう！